

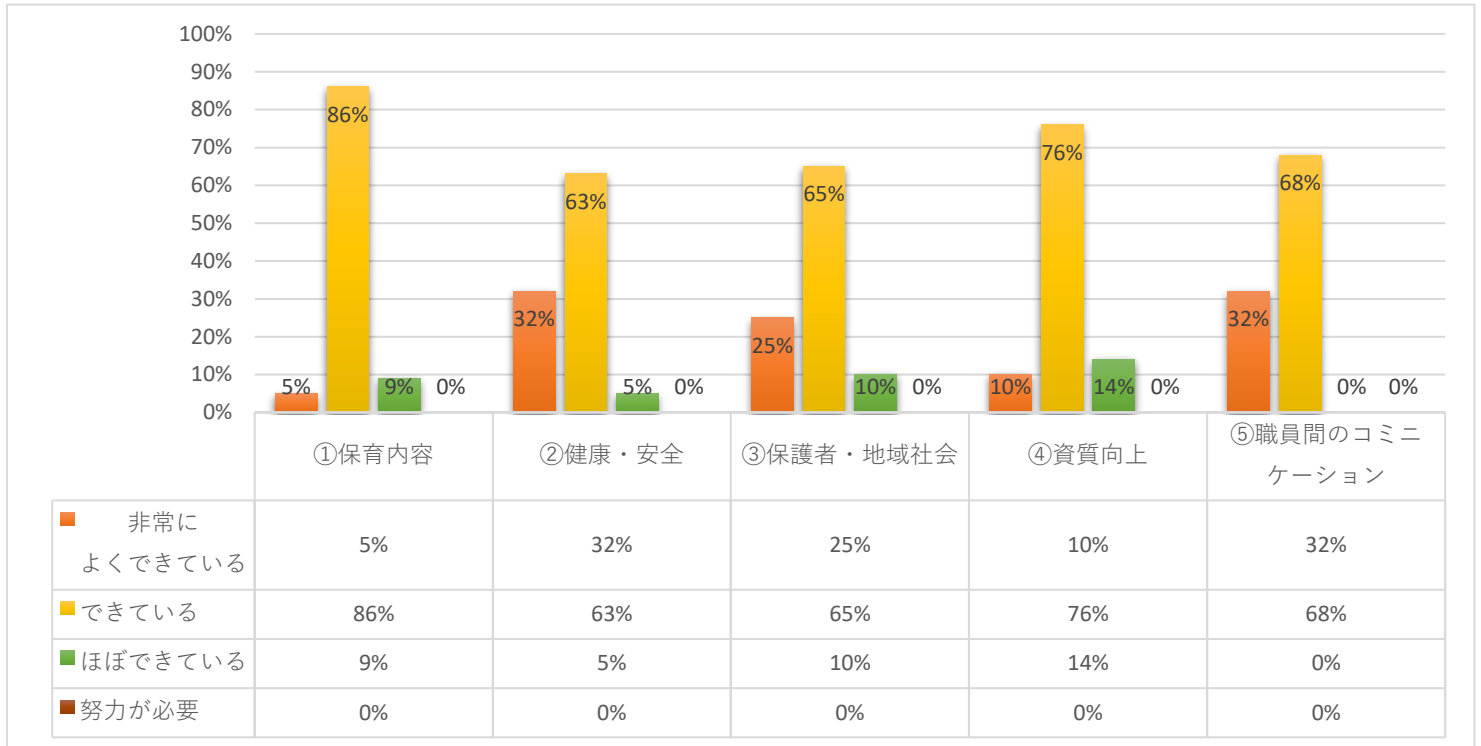
令和7年度 保育所自己評価

牛久さくら保育園

保育所保育指針において、保育士及び保育所の自己評価ならびにその公表が努力義務とされています。
これにもとづき、牛久さくら保育園では保育士の質の向上及びより良い保育園を目指して自己評価を実施しました。
評価結果を踏まえ、より良い保育を提供できるよう努力していきます。

1 保育士の自己評価

5つの項目について、アンケートにて自己評価を実施した。(アンケート内容別添参照)



【アンケート結果】

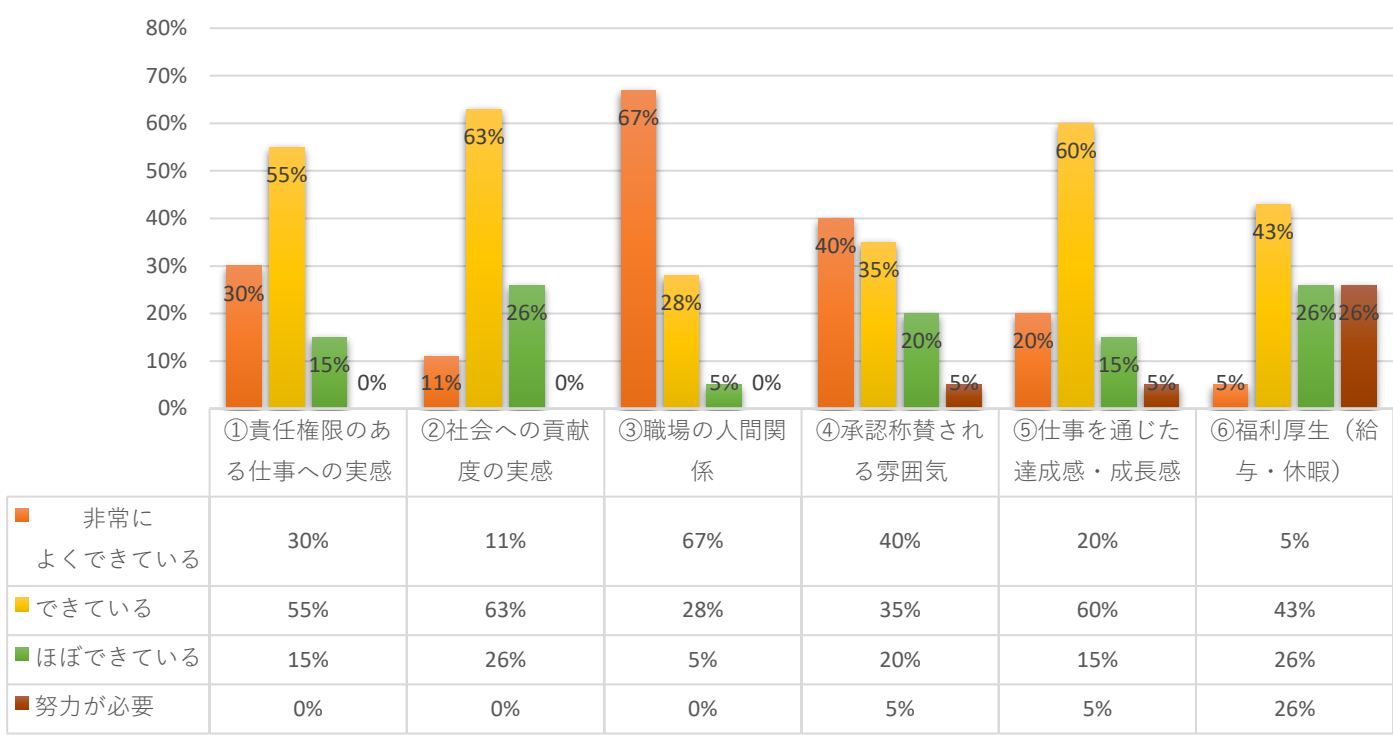
- ①保育内容については、概ね高評価である。経験年数が増えてきていることもあり、保育の方法が定まってきたようにも見える。引き続き人権に関する研修に重点をおいて、時代に応じた保育を目指していきたいと思う。
- ②健康・安全面に関しては昨年同様意識が高い結果となった。職員の共通認識として安全管理は徹底していきたいと思う。
- ③保護者・地域社会についても安定した結果となった。今年度から地域のボランティアに園の花壇を手伝ってもらうなどして、職員の負担も軽減されているかと思う。
- ④資質向上については、昨年度と同等の結果となる。研修などへの参加後、新しい知識を得た実感は伝わってくるが、それを現場の実践に繋いでいくにはもう一歩課題が見える。引き続き努力していきたいところである。
- ⑤職員間のコミュニケーションについては、昨年度に引き続き安定して高評価である。働く環境としても大切なポイントだと思うので、対話の機会を多く作りながら維持していきたい。

【今後の対策】

どの項目も高評価に繋がってはいるが、それに満足するのではなく自ら課題を見つけていけるような意識を心掛けたいと思う。そのためにも日々の個々での振り返りの時間を大切にしていきたい。

2 保育園の自己評価

5つの項目について、アンケートにて評価を実施した。



【アンケート結果】

- ①責任権限のある仕事への実感については、概ね[できている]との回答である。
- ②社会への貢献度に対する実感についても、「できている」の回答が多かった。
- ③職場の人間関係については、「非常によくできている」が昨年度よりも増えていた。
- ④承認称賛される雰囲気については、昨年度より「非常によくできている」という意見が増えた。
- ⑤仕事を通じた達成感・成長感については、わずかだが「努力が必要」という回答があった。
- ⑥の福利厚生については、昨年度よりも「努力が必要」という回答が増えた。

【今後の対策】

概ねの評価は良いと思う。昨年度よりも承認賞賛される雰囲気については改善が見られた。評価を感じにくい職種ではあると思うが、丁寧なフィードバックの機会を続けていきたいと思う。福利厚生については昨年に続き給与がアップしたにも関わらず「努力が必要」という回答が増えた。物価高騰が続いていることもあり、賃金の改善は感じにくいのだろうと考える。こちらについても引き続き改善を求めていきたいと思う。